



救世軍

国際的見解表明

アルコールと社会



アルコールについての見解表明

救世軍は、すべての人々の健康と幸福を高める方法として、アルコールのないライフスタイルを奨励します。また、それを証しするために、救世軍の兵士（信徒）はアルコールのない生活を選択します。

救世軍は、個人、家族、地域社会におけるアルコールの害を認識し、アルコールの消費を減らすことを提唱し、アルコールの使用による悪影響を受けた人々への支援と回復のためのサービスを提供しています。



救世軍の立場の土台となるもの

アルコールは意識に影響を与える薬物であり、催眠剤と同様の鎮静作用があります。その使用によって社会的にも影響を与えるだけでなく、中毒による有毒作用によって死に至ることがあります。アルコールの長期にわたる大量摂取は、依存症をもたらし、身体と精神に非常に多くの疾患を引き起こします。アルコールに伴う危険には、暴力、交通事故、労働災害があります。

多くの人はアルコールを安全かつ容認できる方法で摂取していますが、アルコールが害を及ぼし、その人が依存症になる可能性は常に伴っています。

世界保健機関（WHO）が 2014 年におこなった大規模な調査 ¹ により、アルコールが世界に及ぼしている害が報告されています。

- アルコールの消費が原因で 2012 年に 330 万人が死亡し、その数は、全世界の死亡人口の 5.9 パーセントを占めています。
- 全世界の疾病と障がいの 5.1 パーセントが、アルコールの消費に起因しています。
- 世界で飲酒している人の 16 パーセントが、不定期的に大量のアルコールの摂取をしています。

¹ : 世界保健機関 アルコールと健康に関する世界の状況の報告書。WHO は各国政府がアルコールに関連した死亡と疾病の予防に取り組むよう要請している。2015 年 1 月更新 WHO アルコールファクトシート

救世軍は、世界各地でアルコールの過度の有害な使用が人々にもたらす状態に直面してきました。アルコールの乱用は、個人・家族・地域社会に破滅的な結果をもたらしています。

国際的なアルコール産業は、何千億円もの収益を上げています。² アルコール産業は、アルコールを社会の役に立つ魅力的な商品として販売しています。世界的に見て、アルコール産業は、アルコールが人々と地域社会に害をもたらす危険性があることを、十分には周知していません。

アルコールは、世界の多くの国で経済の中心的位置を占めており、それは、農業、製造業、アルコール販売業、接客業、娯楽産業にわたっています。このため、政府はアルコール産業を保護しようとする傾向をもっています。

² : リポートリンカー 世界のアルコール市場：将来の展望の詳細



救世軍の立場の根拠

聖書は、人間の命と身体が、非常に大切なものであることを教えています。

パウロは、こう述べています。

「知らないのですか。あなたがたの体は、神からいただいた聖霊が宿ってくださる神殿であり、あなたがたはもはや自分自身のものではないのです。あなたがたは、代価を払って買い取られたのです。だから、自分の体で神の栄光を現しなさい。」(コリントー 6 : 19, 20)

アルコールを飲まない生き方は、人々の健康と福祉に役立ちます。

救世軍は、1865年に設立されてすぐに、アルコールの消費が人間と地域社会にもたらす破壊的な影響に対して、立ち向かいました。アルコールに対する大きな憂慮から、救世軍は兵士（信徒）に対して、アルコールが無くても幸福で満たされた生活が可能であるという信念によって、アルコールを全く飲まないことを求めてきました。貧

困と泥酔の悪循環に囚われた人々が、禁酒の誓約を真剣に結ぶことにより、その生き方が変えられました。その人々にとって、アルコールを飲まない信仰の共同体に加わることは、依存症から回復する上で非常に大切な要素となりました。

アルコールに対する救世軍の立場は、アルコールの乱用が個人・家族・地域社会に及ぼす害に対する憂慮によって生まれたものです。救世軍は世界各地で、アルコールの乱用と依存症のために苦しむ人々に直接・間接的に働きかけをしています。そうした人々と連帯するために、兵士はアルコールを飲まない生き方をします。

アルコールは多くの人々によって嗜好されていますが、わたしたちは、アルコールの使用を減らすことが、自分自身に対してと同じように、隣人に対しておこなうべき配慮であると信じます（マタイ 22 : 39）。わたしたちはクリスチャンとして、自分に与えられた自由を行使するにあたり、それが弱い人のつまずきとならないよう配慮しなければなりません（コリントー 8 : 9）。



実的な対応

1. 全世界で、救世軍はアルコールを飲まない生き方を積極的に推進します。
2. 救世軍の兵士（信徒）はアルコールを全く使用しない生き方を選びます。禁酒の目的は、アルコールを飲まない生き方の良い面を積極的に人々に示すことにあります。
3. 救世軍は、児童と成人がアルコールに伴う危険について理解することを助けるため、予防及び教育プログラムの改善を引き続き行います。
4. 救世軍は、アルコール依存症の人々やアルコールを乱用する人々に対して可能な限り支援を提供します。
5. 救世軍は、各国政府と地方自治体がアルコールの販売・宣伝・製造に関して適切な法令を制定するよう働きかけます。こうした法令は、アルコールの乱用や過度の摂取により地域社会・家族・個人が被る害を考慮して制定されるべきです。
6. 救世軍は、アルコールの消費の増大をもたらすアルコール産業の従来の方法に反対する運動をおこないます。そのような手法の例として、アルコールの販売価格の引き上げが、アルコールの消費量の減少に効果があることがわかっています。³

³：世界保健機関ヨーロッパ地域事務所。アルコールに関連した害を減少させるための介入手法の有効性及び対費用効果についての実証結果。





さらに学びを深めるための参考資料

リポートリンカー (2014)

世界のアルコール市場：将来の展望の詳細（英文）2015 年改訂

<http://www.reportlinker.com/ci02014/Alcoholic-Drink.html>

世界保健機関 (2014)

アルコールと健康に関する世界の状況の報告書（英文）2015 年 3 月改訂

http://apps.who.int/iris/bitstream/10665/112736/1/9789240692763_eng.pdf?ua=1

世界保健機関 (2014)

WHO は各国政府がアルコールに関連した死亡と疾病の予防に取り組むよう要請している（英文）2015 年 3 月改訂

<http://www.who.int/mediacentre/news/releases/2014/alcohol-related-deaths-prevention/en/>

世界保健機関 (n.d.)

アルコールの現状（英文）2015 年 3 月改訂

<http://www.who.int/mediacentre/factsheets/fs349/en/>

世界保健機関 ヨーロッパ地域事務所 (2009)

アルコールに関連した害を減少させるための介入手法の有効性及び対費用効果についての実証結果（英文）2015 年 3 月改訂

https://www.euro.who.int/__data/assets/pdf_file/0020/43319/E92823.pdf

2015 年 5 月大将によって承認

この国際的な見解表明は、提示する問題に関する救世軍の公式の見解で構成されています。万国本営の書面による明確な許可なく、いかなる方法でも修正または改訂することはできません。

